Vol.31

まるとみ新聞

newspaper
'13 Aug.

発行所
北九州市若松区本町1-1-33
丸富産業（若松区役所前）
TEL093-751-1081

すまいdeスマイル
13年8月号

住まいの歴史 HISTORY OF LIFE

武士が天袋に入れたものとは…

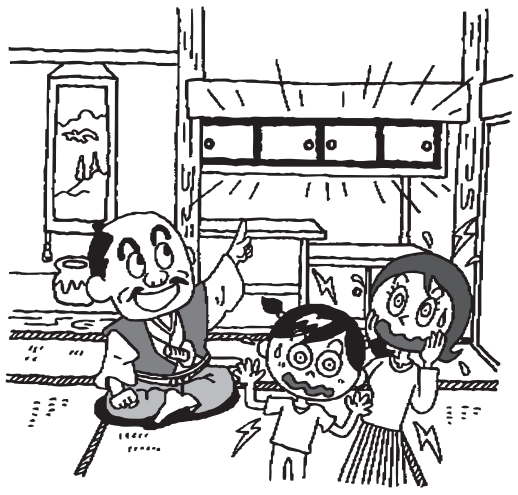
最近の住宅の内装は洋風が主流で間取りも実用的なものが多いため、昔のように本格的な座敷や床の間を構える家が減ってきました。今回はこの床の間の天袋にまつわる、ちょっと怖い話を紹介します。

床の間ってナニ？

室町時代、接客のための「座敷」に身分の高い人が座る一段高い座敷（床）が置かれるようになり、そこに押板（掛け軸をかける壁と置物などを展示する机を合わせたもの）、違い棚、付書院（明かりとりの障子窓に机代わりの板をとりつけたコーナー）などの「座敷飾り」が付属して「床の間」が生まれました。

床の間は有力者の住居や城の広間、有力者を客として迎える家臣や庄屋などの座敷に備えられますが、その役割は自分や主人の権威を演出するための舞台装置のようなものでした。つまり床の間に高価なものや由緒正しいものを飾ることで、その前（上座）に座る人物の学問的知識や金銭的豊かさをアピールしたのです。

塩漬けって…ふつうおいしいもの想像するんですけど…。



天袋の高さは9寸

さてやっと本題です。本格的な和室の床の間（床脇）には違い棚と天袋（戸棚）が設けられていますが、その天袋のタテの幅は9寸（約27センチ）と決まっています。それは、ここに入れるあるもののサイズがちょうどそれくらいだからなのですが、何だと思いますか？　ヒントは人のからだのある部分です。

お手柄の専用飾り棚

はい、答えは「人の頭の長さ」。天袋は人の首を入れる場所だったのです。

戦国時代、戦では自分の戦績を証明するため、討ち取った敵の首を持ち帰っていました。その首（顔）をチェックしてもらい、身分の高い武将など価値のあるものだと恩賞がもらえたからです。

床の間は主人の権威をあらわす場として使われていましたから、そこに手柄である首を飾っていたということですね。

落人伝説と源氏の生首

平家落人伝説で有名な熊本県五家荘（ごかのしょう）の緒方家（平清盛の子孫）にこんな話が残っていました。

築300年以上という住居の床の間。当主いわく「天袋に塩漬けにした源氏方の武将の首をおいていた」と。天袋から血が滴り落ちるので、それを受ける違い棚に勾配をとり、最後は下に置いた壺の中にたまる仕掛けになっていたのだとか。「天袋に生首」はまさかの正しい使い方だったようです。

トコロ変われば

チュニジア

ルーク・スカイウォーカーの家

てっきり映画のセットだと思ってた。

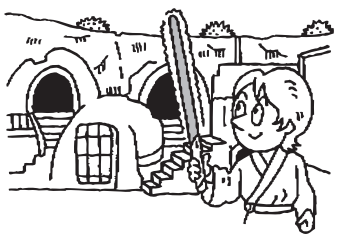
1977年にアメリカで公開され、いまだ世界中に根強いファンを持つ伝説的なSF映画「スター・ウォーズ」の第1作（エピソード4）で、主人公のルーク・スカイウォーカーが住んでいるのが砂漠の惑星タトゥイーン。

そこでルークがおじ夫婦と住んでいる家というのが、砂漠の地面に大きく深い穴を掘り、さらに側面に横穴を開けて部屋をつくった独特のすまいでした。実はこの住居、ロケ地チュニジアのマトマタにいまも実在しており、泊まることもできるのです。

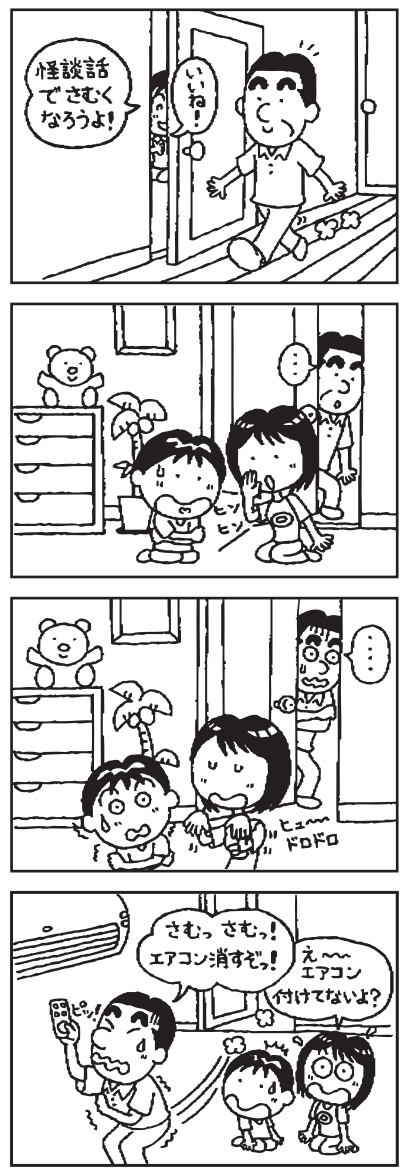
もともとは先住民ベルベル人の穴居住宅。12～13世紀ごろ、侵攻してきたアラブ人から身を隠すためこのような住居を構えたようで、いまはホテルとして使用されています。

残念ながら冷暖房完備とはいきませんが、ルークとハン・ソロ船長が出会うモス・アイズリーの酒場も実際にバーとして営業しているそうなので、SWファンならぜひ一度訪ねてジェダイの騎士気分を味わってみたいものですね。

ちなみにタトゥイーンという惑星の名前はチュニジアの都市タタウィンからつけられたもの。一部のジェダイの衣裳もベルベル人の伝統服をそのまま使用しているそうです。



すまいる家族 はればれ

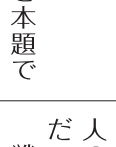


一日一本一家一屋

これってアレコレ

調査その❸「納戸」

「部屋」とはいえないわけがあったんだね。



表記はイロイロ、S・N・U・F・M・DEN

納戸とは、普段使わない衣類や家具、季節家電なんかを収納する空間、つまり物置部屋のことですが、住宅の広告なんかでよく3LDK+Sとか2SLDKとかも特別なスペースがあるように書かれているこの「S」はサービスルームといって、納戸のことなんです。

ではなぜ納戸と書かないのでしょう。そもそも納戸ってナニ？って疑問が湧いてきそうです。

実は建築基準法で居室（部屋）と認められるには、採光や天井高、出入口の状態などさまざまな条件をクリアしなければなりません。たとえ部屋が広くても窓がなかったり、窓の前がマンションの階段だったりして十分な採光が得られないと居室としてカウントされず「納戸等」と表示することになっています。

同じ3LDKの間取りが並んでいるのに、一部の部屋だけ2LDK+Sなどとなっているのはそういう理由からです。

こういう場合、実際はふつうの部屋として使われることが多く、不動産会社もその点をアピールしたいのか、表示例はほかにも納戸（N）、ユーティリティスペース（U）、フリールーム（F）、マルチルーム（M）、書斎（DEN）、多目的ルームと多彩です。

納戸の起源は平安時代、宝物などを収納していた塗籠（ぬりごめ）と呼ばれる閉鎖的な部屋だそうですが、一方で寝室として使われることもあったといいますから、今の私たちの納戸観と近いような気もしますね。

ちなみにこの納戸基準、賃貸住宅ではあまり守られていないようで、3畳ほどの広さでも、窓を開けると目の前が隣のビルの壁でも居室として数えられていたりするので、その点ご注意ください。

スキルアップ

稽古道

「フラダンス」

ハワイアンソングってなんか癒されるよね。

フラダンスの魅力はなんといっても動きがゆるやかで、子どもから年配の方まで誰でも気軽に楽しめるところではないでしょうか。

一見簡単そうに見えるフラダンスの動きですが、最近若い女性にも人気が広がっているのは、意外にもエクササイズ効果が高いことが知られてきたからです。

というのもフラダンスは、ひざを曲げたまま身体をまっすぐ伸ばす「中腰」が基本姿勢。体幹の筋肉が鍛えられ、有酸素運動でもあるので脂肪燃焼にも効果的。心理面でもリラクゼーション効果があるといいますから、まさに現代人の心と体を救ってくれる一石二鳥のダンスといえそうです。